

さんよう広場

令和2年9月 第45号

三木山陽病院 訪問看護部を開設しました

この度、令和2年7月から三木山陽病院訪問看護部を始めさせて頂きました。
在宅療養を希望される皆様が、住み慣れた家で自分らしく、安心して過ごして頂けるように地域の皆様にとって頼れる強い味方となるようにスタッフ一同、取り組んでいきたいと思っています。

＜理念＞

私たちは、利用者様に寄り添い、心のこもった温かい看護を提供します

＜基本方針＞

- ・24時間365日笑顔で皆様の支えます
- ・病気や障害があっても、住み慣れた自宅で、その人らしく安心して生活できるように寄り添います
- ・常に自己研鑽し、安全で納得の技術を提供します

24時間365日いつでも対応

24時間365日相談に応じ、緊急時にはかかりつけ医と連携し、必要な場合は訪問し対応します。



医療機器をつけた在宅療養を支援

経管栄養、在宅酸素、吸引、在宅での点滴注射、人工呼吸器等の医療処置が必要な方の在宅療養を支援します。



自宅への退院を支援

入院中から病院と連携して、在宅生活に向けたスムーズな移行ができるよう相談や支援を行います。



安らかな最期・ターミナル期の支え

がん末期や終末期において、住み慣れた家で最期まで過ごせるように、医師の指示のもと痛みの管理や症状緩和などにも適切に対処し、心のケアも行います。ご家族とともに看取りをします。



医療と介護の橋渡し

さまざまな在宅ケアサービスの使い方の紹介や、介護保険の申請・更新のお手伝いをします。



医療保険・介護保険双方に対応

医療保険・介護保険の両方のサービスが同じステーションで引き続き受けられます。
必要な場合は、他のステーションや医療機関の訪問看護を併用することもできます。





ご挨拶

事務長 肥田 弘治

地域の皆さまにおかれましては、日頃より当院をご利用いただき誠にありがとうございます。
又、近隣のご開業の先生方、病院・施設の皆さまには当院の診療に多大なるご支援をいただき、
この場をお借りしまして厚く御礼申し上げます。

年初来の「疫病神」は、収まるどころか波のように押しは引きを繰り返す様相を呈しており、
定期的にお顔合わせしておりました近隣のご開業の先生方や病院・施設・事業所等の皆さまと、
すっかり疎遠となり寂しい日々を院内で過ごしております。少しでも早い皆さまとの再会を心待
ちにしております。

このような状況において当院では、サーモモニターによる発熱者の動線分離や、外来待合エリ
アでの呼出ベルの貸し出しによる「密」の回避など、受診される患者さまの「不安解消」に取り
組んでおります。

長引くコロナ禍の下で、感染者の発生状況や予防策ばかりを耳目にする毎日ですが、従前から
の健康状態の把握も継続しなければいけません。診断や治療の遅れが治癒の期間や程度に大きな
影響を与えることは私が申し上げるまでもないところです。

受診を希望される患者さまや、ご紹介いただく近隣の先生方に少しでも安心・満足していただ
ける医療を提供出来るよう、病院長・森田をはじめ職員一丸となり努めて参ります。

マスクかぶれについて

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、感染対策としてマスクの長時間着用、最近の暑さの影響で
皮膚トラブルが増えています。



① マスクかぶれ

マスク自体のかぶれ(接触皮膚炎)や表情や口の動きにより肌とマスクが擦れることにより物理
的刺激で皮膚バリア状態が悪化します。マスク内の蒸れも悪化させる一因です。

② ニキビ(吹き出物)

マスクの蒸れにより毛穴の入り口が詰まって皮脂が溜まり、雑菌が繁殖しニキビが発生しやすく
なります。

③ 乾燥

マスクを外した直後は肌表面の水分が蒸発するため、皮膚の乾燥が進行しやすいです。

対策



- ① かぶれにくい素材、肌当たりの優しい、通気性のよいマスクを選ぶ。
- ② 摩擦軽減のためにマスクと肌の間に柔らかいガーゼをはさむ。
- ③ 肌を清潔に保ち保湿する。手持ちの保湿剤のほか白色ワセリンを上から重ねて塗る。
- ④ 人のいない場所ではマスクを適宜外して蒸れを防ぐ。
- ⑤ 口周りに汗をかいた際はこまめにふき取る。



新型コロナウイルスとは？

コロナウイルスには風邪の原因になるウイルスや重症急性呼吸器症候群(SARS)や2012年以降に発生している中東呼吸器症候群(MERS)等があります。

現在流行しているのは昨年12月に中国湖北省武漢市において発生した新型コロナウイルス(COVID-19)です。

<感染経路>

主には飛沫感染(咳やくしゃみ、会話などからウイルスが放出されそれを吸い込むことで感染)と接触感染(汚染された手で口や目を触ること)です。

<症状>

発熱や乾いた咳、だるさ、味覚・嗅覚障害などが特徴的な症状です。80%は無症状か軽症のまま治癒します。発症2日前から7日頃まで感染性ウイルスの放出があります。多くの方は軽症のまま治癒しますが、65歳以上の高齢者や基礎疾患(糖尿病、高血圧、呼吸器疾患等)をお持ちの方は重症化しやすいといわれています。

<新型コロナウイルスに対する当院の取り組み>

- ① 来院者の体調確認、検温の実施
- ② マスク着用とアルコール手指消毒のお願い
- ③ 電話診療及びオンライン診療(内科定期診察に限る)の実施
- ④ 入院患者様の面会禁止と不要不急の外出、外泊禁止
- ⑤ 面会禁止に伴いオンライン面会の実施

<みんなでできる新型コロナウイルスの感染対策>

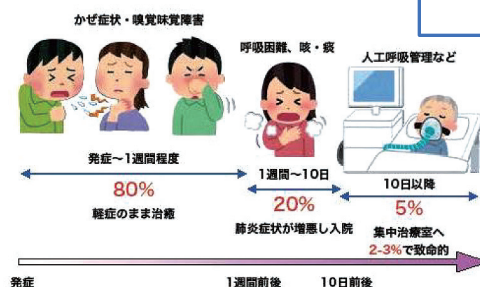
手洗い、手指消毒の徹底

マスクの着用

咳エチケットの徹底

三密(密閉、密接、密着)を避ける

普段の体調管理



三木山陽病院の庭園



屋上庭園



2階庭園



花は季節ごとに入れ替えをしています。散歩がてら是非見に来てください！

おうち時間で作る秋食材を使ったレシピ

蒸し鮭の豆乳味噌ソース



材料 (1人分) 調理時間 30分

鮭	1切れ
塩コショウ	各少々
かぼちゃ	50g
しめじ	30g
ミニトマト	2個
ベビーリーフ	3枚
酒	小さじ1

【作り方】

- ① 鮭に塩コショウをふる。
- ② かぼちゃは薄くスライスし、しめじは石づきを切り小房に分ける。
- ③ 耐熱皿にかぼちゃ・鮭・しめじを並べて酒を振り、電子レンジで3分加熱する。
- ④ 皿にうつしソースをかけ、ベビーリーフ、トマトを添えて出来上がり♪



◆豆乳味噌ソース

オリーブオイル	2g
小麦粉	1.5g
豆乳	30cc
味噌	1g

【ソースの作り方】

- ① 鍋にオリーブオイル、小麦粉を入れ混ぜてから火にかける。
- ② 味噌を加え、豆乳を入れ混ぜながら加熱する。
- ③ とろみがついてきたら弱火にし、なめらかになれば完成♪

安全管理委員会の活動報告

安全管理委員会は当院を利用される患者さまが安全かつ安心して医療や看護を受けられるように院内の事故防止に努めています。今まで以上に院内のラウンドを強化したことで、部門を超えて情報共有が可能となり危険個所の早期発見や業務内容の見直しにつながりました。今後も、職員全員の安全管理に対する意識向上を目指して日々活動していきたいと考えています。



インフルエンザ予防接種のお知らせ

10月初めよりインフルエンザの予防接種が開始予定です。出来るだけ早めに予防接種を受けましょう。65歳以上の方は、公費負担補助があります。詳しくは外来受付までお問い合わせください。

アクセスMAP



医療法人社団 朋優会

三木山陽病院

〒673-0501

三木市志染町吉田 1213-1

TEL 0794-85-3061

FAX 0794-85-3582

URL <http://www.hoyukai.or.jp>

E-mail info@mikisanyo-hp.com

